

JAL愛媛争議団を支える会



ニュース

勝利解決の日まで
たたかう

発行：JAL 不当解雇とたかう愛媛争議団を支える会
連絡先：愛媛自治労連会館 3F 愛媛労連内
松山市三番町 8-10-2



私も
応援
します



**大池ひとみさんとは11年を経て
また出会う事になりました**

年金者組合西予支部 桑名千代子

私が JAL 不当解雇とたかう愛媛争議団の存在を知ったのは、国際女性デー第54回(2013・3・8)愛媛中央集会の時でした。私は「愛媛県退職教職員連絡協議会(退教協)」の会員として参加をしていました。講演の後「JAL 解雇 2 年」という会場発言があり、若い 2 人が切々と訴えていた姿が今も残っています。当時の私は、不当解雇に怒り現場復帰を願う訴えだと単純に受け取り、可能性は薄いと思うのに頑張っているなと思っていました。そのお二人が、大池ひとみさんと林恵美さんだったのです。

昨年転居先の年金者組合西予支部の会で、

西予市に住む大池ひとみさんと(私の中では)再会しました。身近にひとみさんの活動や生き方に触れるにつけ、あの時には分からなかった運動の意義が見えてきました。ひとみさんがなぜ人の集まるところへ出かけ、熱く語り、運動を続けているのかーそれは 14 年前の 165 名の解雇は必要のない解雇、モノ言う労働者の排除と組合の弱体化を狙ったもので空の安全に逆行するものだから。自分たちだけでなく、好きな空の現場で今も働いている仲間たちを守る闘いでもあるからー

今、私はこの再びの出会いを大切にしています。

昨年末から愛媛を飛び出して、合つたり、仲間とのかかわりで紹介されたり、行く予定のなかつた四国各地、また関東での活動に参加する機会が多くなった。

時間もかかるし、お金もかかるけなこんなで物語のように人の輪が広がっている。地元でも町おこしのボランティアに参加し、しんどい思いをしながらも充実した日々、楽しくて仕方がない。でも世の中には理不尽なこと多く、あちこちで苦しんでいる方がたくさんいらっしゃるのも事実だ。

ブリッジ』という集会に参加させていただき、性暴力、ジェンダー平等、平和と民主主義、女性蔑視の神奈川県知事、選択的夫婦別姓、沖縄基地被害など女性たちがマイクを持って訴えた。予定には入っていなかつた我々も女性差別問題についてのたくさんの問題の中から、このたくさん問題の中から、今回、私が取り上げたいのは「選択性夫婦別姓」について。

先日、横浜・桜木町で、『フェミニズム』皆さんはこれについて、どう思

選択的夫婦別姓制度について、どう思う?

JAL被解雇者労働組合
西予市在住 大池ひとみ

われているのか、とても興味がある。国会ではもう10年も前から議題に上がっており、夫婦別姓を認めてほしい、と裁判まで起こされている人がいる。

私の友人の一人は、「私は愛する人と結婚でき、その人の名字を名乗れるようになったとき最高に幸せだった。愛する人の家に嫁ぐのだから、覚悟もできるし、どうして、自分の名字にそこまでこだわるのかわからない。」と言っていた。もしかしたら、日本の女性は明治以来、夫の姓を名乗れることを誇りに思い、それが当たり前だと思って結婚してきたのかもしれない。

別の友人はこう言つた。彼女は若くして結婚し、夫が自分の家に入ってくれて、長女は現在東京大学教授の地位にいる。その彼女が言うには、独身時代に発表した論文は、結婚して姓が変わると、もう自分のものと認めてもえなくなり、これまでの実績はすべて水の泡となるのだそうだ。なぜなら、姓を自分で選べないのは世界中で日本だけで、あのサウジアラビアでさえ、姓は自分で選択できるのでは、姓が変わるということは別人として扱われることになるというわけだ。なので、論文を書くために離婚して姓をもとに戻し、論文を出し終えたら、また復縁するということを繰り返している人が実際にいるらしい。そんな苦労をしている人がこの世にいることを、いったいどれだけの人気が知っているだろう。



『フェミニ・ブリッジ』集会の最

「選択制」ですよ／あなたは何も困らない／幸せな人が増えるだけ

後に、皆でコールした。
選択的夫婦別姓／どうして反対するのかな／だって「選択制」です

よ／姓を変えたくない人が／姓を

（抜粋）

変えず／すむだけです／あなたは何も困らない／幸せな人が増えるだけ／夫婦同姓が良い人は／それ

だ。

を選べばいいのです／夫の姓がよかつたら／夫の姓になりますし／妻の姓が良かつたら／妻の姓になりますし／世論調査の結果では／賛成の割反対3割／社会の理解は進んでます／選択的夫婦別姓／どうして反対するのかな／だって

とつくづく思った。

これを全員で、ラップ調の軽快なリズムに乗りながら大声で合唱しました。

おかしいことはおかしい、と皆で声をあげ、えていかないといけませんね。それと、勉強も大事。

知らないということは恐ろしい、

とつくづく思った。